

学校だより

2025年5月から7月までの
資格試験一覧

この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。

●5月19日 溶接JIS検定

(3年溶接科)

●6月13日 機械製図検定一次

(3学年選抜生徒)

●6月20日 計算技術検定

(全学年)

●6月27日 情報技術検定

(3年電気科)

●7月1日 2級旋盤技能士実技

(3年機械科)

●7月5日 機械製図検定二次

(3学年一次試験合格者)

●7月13日 3級電子機器組立

(2年電気科)

●7月24日 危険物取扱検定

(全学年選抜生徒)

助川山ハイキング

3年溶接科(寮委員長)

佐久間 貴大

4月11日、導入教育を担当した寮委員(3年11名・アドバイザー(2年16名)と共に新入生75名が助川山ハイキングを実施しました。最初はお互いに緊張している様子も見られましたが、歩きながら会話を重ねるうちに打ち解け、笑顔が増えてい



助川山ハイキング

くのが印象的で、全員で山頂まで登ることができました。また、中学校や今後の学校生活についてなど、新入生と会話ができ、寮委員・アドバイザーも楽しくハイキングすることができました。学校到着後は食堂で昼食をとった後、同会場にて、新入生と寮委員・アドバイザーのディスカッションを行いました。ディスカッションでは、新入生が不安に思っている事や寮委員・アドバイザーのこれまでの経験談など共有し、さらに仲を深めることができました。今後、本格的に授業・実習がスタートし、1年次に基礎を固め、事業所で必要とされる人材になるための良きスタートとなることを期待します。

地区別懇談会を開催

新入生との交友を深める

4月16日、地区別懇談会を開催した。日専校では全国各地から生徒が

入学しており、出身地も様々である。この会は在校生を東北から九州までの11のグループに分け、新入生が同じ出身地区の先輩と初顔合わせをする学校行事である。自己紹介から始まり、先輩から後輩への学校生活におけるアドバイスの他、クイズ・ビンゴ・ダーツなどで親睦を深めた。各教室ではリーダーの生徒が会をスムーズに進行し、皆楽しいひと時を過ごすことができた。新入生はこの行事を通して同郷の先輩方と知り合うことができた。今後、学校生活をサポートしてくれる頼もしい存在となってくれることだろう。



地区別懇談会

新体力テスト

自分の限界に挑戦

5月14日、新体力テストを全学年で実施した。天候も良く、予定していた種目はすべて行うことができた。身長・体重などの身体測定と、50メー

トル走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの屋外種目、そして、反復横とびや長座体前屈などの体育館種目を行った。さらに通常の種目に加え、日専校独自の学校特別指定種目である、腕立て伏せ、垂直とびも行った。20メートルシャトルランは、翌日以降の体育の授業内で実施した。生徒たちは体育や部活動で鍛えた運動の成果を大いに発揮し、自分の限界に挑戦していた。食欲に記録に挑戦する姿は立派であった。



新体力テスト

1年生が成沢霊園で

戦災殉職者慰霊参拝

6月10日、日立事業所の「戦災の日」に合わせ、1年生による成沢霊園への慰霊参拝を実施した。天候はあいにくの小雨となったが、日専校から成沢霊園までは徒歩で移動。現地で戦災の説明を受けた後、「諸精霊之碑」および戦没者氏名が記され



戦災殉職者慰霊参拝

避難訓練を実施

避難場所、経路を確認

6月13日、14時50分頃、授業中に東北地方太平洋沖地震クラスの大地震が発生し、震災後の停電を想定した避難訓練を実施した。停電によ

(7頁へ続く)

(6頁の続き)

り放送設備が使用できなくなるため、今回は拡声器を活用して各学年主任が生徒や教職員を誘導した。訓練では、大きな揺れが収まった後、余震に備え机の下に一時避難し、冷静に避難経路を確認した後、指定された避難場所へと安全に移動した。拡声器による誘導により、混乱を最小限に抑える対応力を養う事ができた。他、停電の中でも安全な避難行動を身につける事ができた。今後も定期的に避難訓練を行い、非常時の安全確保に努めていく。



避難訓練

野球部壮行会を開催

選手が力強く決意表明

6月30日、体育館において科技高日立野球部の壮行会が行われた。都市対抗野球北関東大会の応援と重なり当初の日程を変更しての実施となった。元気よく入場した選手20名



野球部壮行会

を職員、生徒、野球部の保護者の方々が大きな拍手で迎えた。選手全員がステージに登壇後、安田龍賀くん(3年機械科)から選手の紹介があり、選手一人一人が大会に向けた決意表明を行った。その後、応援団メイंत्रीダーの指揮で選手たちの活躍を祈念しエールが送られた。また、壮行会には日工同窓会松浦代表副会長も参加され、日専校大応援団に激励品が贈呈された。最後に泉校長から激励の言葉をいただき、選手を代表して坂本桂一主将(3年機械科)が力強く宣誓し壮行会を終了した。尚、壮行会終了後は応援団リーダーと吹奏楽部を中心に応援練習が生徒全員で行われた。科技高日立野球部の活躍を期待する。

科技高生活体験発表大会

佐久間 貴大くんが優秀賞

7月2日、第58回科学技術学園高

等学校「生活体験発表大会」が、東京都世田谷区の本校で開催された。発表者は本校および連携校から選出された7名であり、日専校からは3年溶接科の佐久間貴大くんが「成長への道」と題して、寮生活における新入生のアドバイザーや寮委員長として、コミュニケーションの大切さ、成長の喜び、助け合いの精神などについて、多くの聴衆を前に熱く語ってくれた。結果は優秀賞で上部大会への進出は叶わなかったが、夏の大会に向けた野球部活動をしながらか十分な発表練習時間を取ることができない中、学校代表として大変立派な発表であった。



科技高生活体験発表大会

全国高等学校野球選手権大会

茨城大会全校応援

7月5日、ノーブルホームスタジアム水戸で第107回全国高校野球選手権茨城大会の開会式が行われ、84



初戦に勝利 校歌斉唱する野球部

チームの選手が夢の舞台、甲子園出場をめざし開幕した。

7月6日の1回戦はひたちなか市民球場で水海道二高と対戦した。序盤3点のリードを許しながらも中盤以降に反撃し、8回に嶋田瑛斗(2年機械科)、坂本桂一(3年機械科)のヒットで3対3の同点とした。さらに勢いは止まらず、9回に勝ち越し、最終的に6対3で初戦を制した。続く2回戦は7月12日、同じひたちなか市民球場で土浦第三高校と対戦した。2年前に1回に6点を先取したものの、7対16の7回コールドで敗戦を喫した宿敵である。この試合も序盤から3点を追う展開となったが、5回にフォアボールと鬼塚日向吾(2年機械科)、菊池陽翔(2年電気科)、嶋田瑛斗(2年機械科)のヒットで同点とするも終盤に追加点を許し、結果は4対7で惜敗した。

両試合とも白熱した好ゲームであり、選手たちは最後まで諦めることなく全力を尽くした。また、応援団、吹奏楽部を中心とした全校応援も、試合に挑む選手たちの力となった。炎天下の中で声援を送り続けたその姿は、まさに日専校の団結力の象徴であった。この夏の経験は、選手、応援生とともに大きな成長の糧となったに違いない。



応援リーダーも勝利を期す



全校生徒で熱い応援